

入院診療計画書: 大腿骨頸部骨折観血的整復固定術

年 月 日

診断名: (右 ・ 左) 大腿骨頸部骨折

署名

月/日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
病日	入院時	前日	手術当日	手術後	1日目	2日目	3~6日目	7~9日目	10~13日目	14日目~	21~27日目	退院	
目標	不安なく手術に臨む事ができる			痛みなく過ごす事ができる			リハビリを意欲的に行う事ができる			退院への準備ができる			
治療	注射	ありません		水分・食事摂取がとれるようになったら点滴を終了します			抗生剤の点滴があります			ありません			
		必要に応じて痛み止めまたは吐き気止めの注射があります											
	薬剤	※常用薬のある方はお知らせください			痛み止めの内服薬と坐薬があります								
	処置	必要時牽引をします	・義歯、眼鏡(コンタクト)、 貴金属類を外し、化粧を落とします。 ・手術着に着替えます	・手術後3時間は心電図・体温・ 血圧を頻回に測定します ・酸素吸入をします ・静脈血栓予防のため下肢 マッサージ器を使用します ・創の近くに管が入ってくる事が あります ・管を触らないよう行動制限を させていただくことがあります(開 始時に説明と同意書の記入をし ます)	創付近の管が抜けたら車椅子乗車を 開始します 車椅子の乗車が可能になったら尿の 管を抜きます 必要に応じてガーゼ交換をします	必要に応じてガーゼ を交換します 医師の指示により 下肢持続マッサージ 器を外します 医師の指示により 弾性ストッキングを 装着します	創の ホチキスを 外します	フィルム剤で創を保護します	退院後の生活について説明があります 次回外来予定をお知らせします				
		体温・脈・血圧の測定を行います											
	検査	必要時、レントゲン検査、血液・尿検査、心電図検査を行います											
リハビリ	ベッド上安静です				医師の指示により車椅子移動訓練 立位訓練開始です			医師の指示により 歩行器訓練開始します		医師の指示により 杖歩行訓練開始します			
日常生活	活動	ベッド上安静・医師の指示により頭部挙上可能			医師の指示により車椅子で移動します				病棟内を歩行できます (歩行器・看護師の介助 付)		病棟内を歩行できま す(杖・看護師の介 助付)		
	食事	普通食です ・21時以降は絶食、水分は午前手術の方は23時まで、 午後手術の方は当日10時まで可能です ・特別な栄養管理の必要性(有・無)		手術3時間後より水分摂取が 可能です		普通食です							
	清潔	タオルで清拭をします		ベッド上で洗面をします		タオルで清拭を します		必要時保清のお手伝いをします			医師の指示により シャワーが可能です		
	排泄	ベッド上での排泄です 必要時、尿の管を挿入します					トイレで排泄可能 (車椅子使用・看護師付き添い)			トイレで排泄可能(看護師付き添い)			
説明	入院までの経過を 伺います	病棟・手術室看護師 より手術について説 明があります	牧師の訪問が あります	手術終了後主治医より説明があり ます PHSでご家族様へ連絡致します ので院内でお待ち下さい			必要時、手術後の経過と処置について説明があります					医師の許可により 外出・外泊が可能 です	

★手術後のスケジュールは患者様の状態により多少前後することがあります

★入院中にお困りのことがありましたら、医師・看護師にご相談下さい

★退院についてお困りのことがありましたら、医療社会相談室にご相談下さい

医師

看護師

東京衛生病院

2016/3/31 改訂

2007/2/20